

楽しく美しい まちづくり通信…⑥4

稲荷坂の神々

よう。本当の坂は、ここを通過して山道に入り、野原に出る道で…と道案内してくれた古館ワカエさんが話してくれました。

坂の登り口の右側に、山神様が祭られています。二本の大きなケヤキが鳥居のように、参道の入口に立っています。

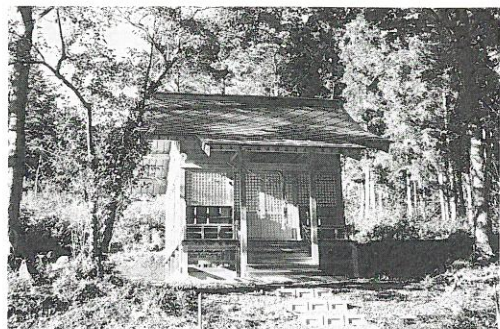
山の神は女神で、山に宿る神霊の総称です。山を支配する神として古くから広く信仰され、山仕事に携わる人々を守るといわれています。

また、山の神は作神でもあります。毎年山と里を往復し、春になると里に下りてきて、田の神となって稲の生育をつかさどり、秋の収穫が終わると山に帰るといわれています。

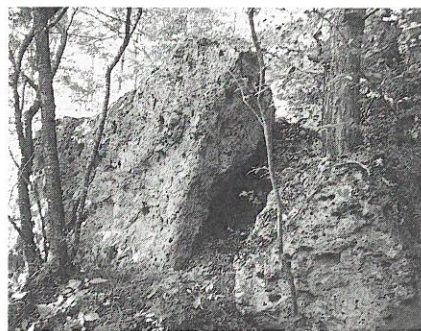
ほかに、山の神は十二人の子だくさんで「お産の神」としても信仰されています。

管理人の漆原キスヨさん宅では、祭りと年取りには、餅つきをし、お神酒と一緒に子供えをします。

山の神から川代方向に進み、右側の坂を上ります。軽トラックがやっと通るほどの狭い道をしばらく歩いていくと、左脇の沢沿いの杉木立の中に、稲荷様



山神様



くぐり石

が祭られていました。坂の名の由来はこの稲荷様から付けられたといわれます。

稲荷様は「お稲荷さん」と呼ばれ、五穀をつかさどる農耕神として祭られるほか、漁業神、商業神など広く庶民に信仰されています。

さらに山際を上っていくと「くぐり石」の下で県道と交差します。この石は、大きな岩に寄りかかり、人が通り抜けるほどのすき間があります。「あの石、ぎゃろ(カエル)石つてもべった(言った)なあ。よくばぐず(かけごと)やっていただいだ。」とある老人が言っていました。

これから先は、さらに狭い杉



稲荷様

林の中を進み、坂も少し厳しくなります。途中、少しやぶをかき分けながら尾根に出ると、視界が開け折爪岳から岩手山の山並みが続く眺望に目を見張ります。

十文字川にはぐくまれ、自然とのかかわりを大切に守ってきたこの里には、まだ知られざる「宝」が残されているようです。



取材協力(順不同)

- 古館ワカエさん・館向マサエさん
- 小館長次郎さん・漆原直義さん
- 漆原キスヨさん

こよみ



11月11日～12月10日

★11月★

- 11日(水) 世界平和記念日
- 12日(木) 市民生活相談(市役所市民相談室)
- 13日(金) 映画とお話の会(図書館)
- 14日(土) 七五三
- 15日(日) 4カ月児健康診査・離乳食セミナー・中期(市保健センター)
- 16日(月) 市長と語る日(市長室)
- 17日(火) 法律相談(市役所市民相談室)
- 18日(水) 勤労感謝の日
- 19日(木) 1歳6カ月児健康診査・離乳食セミナー・後期・親子プログラミング教室(市保健センター)、行政相談(市役所市民相談室)
- 20日(金) 育児相談(市保健センター)
- 21日(土) 小雪(二十四節気)
- 22日(日) 勤労感謝の日
- 23日(月) 1歳6カ月児健康診査・離乳食セミナー・後期・親子プログラミング教室(市保健センター)、行政相談(市役所市民相談室)
- 24日(火) 1歳6カ月児健康診査・離乳食セミナー・後期・親子プログラミング教室(市保健センター)、行政相談(市役所市民相談室)
- 25日(水) 育児相談(市保健センター)
- 26日(木) 税務巡回相談(市役所市民相談室)
- 27日(金) プレママ教室(市保)